



工藤 隊員



三好 隊員

地域おこし協力隊日記 #14

こんにちは！天売地区地域おこし協力隊の工藤です。徐々に涼しい日が増えてきました。天売島のフットパスにも可愛らしいどんぐりや松ぼっくりが落ちていて秋を感じます。季節の変わり目、お体に気をつけて毎日をお過ごしください。

ウニの缶詰実習 文：工藤隊員

天売高校では、天売島の基幹産業が漁業であるという地域の特性を生かし、普通科でありながら水産科目が設置されています。8月19日(金)と20日(土)の2日間は、全校生徒がウニの缶詰を作る水産実習に取り組みました。

1日目は2年生とともに、私も作業させていただきました。ウニの殻を刃物で二つに割った後、専用のスプーンを使って殻からウニを取り出し、ピンセットを使って内臓を取り除いていくのですが、殻から取り出すのも、内臓を取り除くのもなかなかうまくいかず、ぼろぼろとウニが崩れて難しかったです。2日目は1年生と3年生が実習に取り組みました。毎年ウニの缶詰作りに取り組んできた3年生は、崩さず綺麗にウニを取り出しており、1年生がそんな経験豊富な3年生に相談する場面もありました。

普段仕事をしているからでしょうか。みな手際がよく、掃除も含め作業はスムーズに進みました。



留萌管内の事業者をつなぐ、シーバードフレンドリー・モニターツアー 文：三好隊員



シーバードフレンドリー (SBF)が目指す、人も海鳥も豊かに暮らしていける地域づくりのために、留萌管内の事業者を招致し、羽幌町の農家さんと苫前町の漁師さんの環境にやさしい取り組みを紹介しました。羽幌町の上築有機米生産組合では、北限のうるち米の田んぼで行われている、特別栽培(減農薬の基準)について、苫前町のinakaBLUEでは、ミズダコと昔ながらの漁村を100年後の未来につなげるための資源管理型漁業の取り組みについてお話を伺いました。ツアー後半では、羽幌町のレストラン「ラ・フラスカ」で特別栽培米とミズダコを調理いただき、試食・意見交換会を行いました。

天塩町、初山別村、羽幌町、苫前町から、農業・酪農業・漁業・水産加工業・金融業に携わる8人が参加し、地域・業種を超えた仲間づくりがとても活発に行われました。

SBFプロジェクトは、地域・業種を超えた様々なつながりが「人も海鳥も豊かに生きる地域」を紡いでいくことを応援します。どうぞよろしくお願ひします。

羽幌の自然すなっぷ

「風にゆられるススキとまわる水車小屋」

ゆらゆらクルクル



羽幌町地域おこしFacebookもぜひご覧ください！

協力隊の活動や日々の出来事を発信していきます。

登録はこちらから ⇒

